



半林半Xを目指す移住者を支援しています

森林を守り育てるために

皆さんは、半林半Xという言葉をご存知ですか。

半林半Xとは…

林業以外の仕事を兼業して生計維持が可能な収入を確保しつつ、林業に従事する「新たなライフスタイル」です。

広島市の中山間地域の多くを占める森林は、木材価格の低迷や林業の担い手不足などにより、その一部が管理されないまま放置されています。

一方で、都市住民の中には「自然の中で働くことの素晴らしさ」を感じる人が増えています。

このため、広島市では中山間地域への移住者を林業の担い手として育てるとともに、その魅力を発信することでさらなる移住者を呼び込み、地域の活性化を図る「半林半X移住者支援事業」を行っています。

平成29年に広島市が半林半Xを目指す移住者を募集したところ、



簡易集材機による木材の搬出

おくむらあきひさ つちおかひさゆき
奥村明尚さんと土岡央幸さんの2人が研修生として選ばれ、奥村さんは西区から佐伯区湯来町水内地区へ、土岡さんは西区から安佐北区白木町井原地区へそれぞれ移住し、林業技術を学びながら、林業以外の「しごとづくり」にも取り組んでいます。

自伐林業を目指して

自伐林業とは…

主に自分の持ち山で、間伐などの手入れから木材の搬出・出荷までの作業をすべて自力で行うことをいいます。

今年度2人は、自ら森林を育て管理し、林業経営を行う自伐林業家として自立するための様々な研修を本センターで受けています。

チェーンソーによる伐木・造材をはじめ、簡易集材機による木材の搬出、作業道の開設などに取り組みながら、日々、林業技術の習得に汗を流しています。

今後、この2人が半林半Xで自立し、地域に根ざした林業の担い手として活躍されることを期待しています。 (2ページへ続く)



間伐 (伐木・造材)



チェーンソーの目立てと整備

(1ページより続く)

2人の研修生に半林半Xを目指したきっかけや今後の抱負などを聞きました

☆奥村明尚さん

「先輩の森林整備を手伝った時、山の手入れの必要性を感じ、山に入る仕事をしたいと思い応募しました。現在もその先輩の下で、間伐などの森林整備をおこなっています。

これまで2年間の研修を受ける中で、自伐林業の輪郭がようやく見えてきました。

これからは気持ちに余裕もできるので道づくりから木材・バイオマス燃料などの搬出までを実践できればと思っています。



作業道の開設

今後は、間伐や自伐林業に取り組みながら、半X部分では音響関係やデザインなど、いくつかの仕事をしていくことを思い描いています。」

☆土岡央幸さん

「私は23年間、地元の銀行に勤務していましたが、人生100年時代を生き抜いていくためには、健康寿命だけでなく、職業寿命も伸ばしていかなければならないと感じていました。

そのようなときに、新聞で広島市の半林半X移住者支援事業のことを知り、手に職をつけるチャンスだと思いチャレンジしました。

筋トレが趣味でしたので、肉体労働の林業に従事すれば、趣味と



林内作業車による木材の搬出

実益を兼ねることができるとも思えないという思いもありました。

今後は、飲食店への未利用材などを使った薪の販売や原木シタケの生産、ウッドキャンドルの製作にも力を入れ、林業に関連する仕事で半X部分の収入確保を目指していきます。」

☎ 農林振興課 (☎845-4348)



林業経営に関する座学



森林調査(測量)

“ひろしまそだち”野菜アドバイザーの活躍が期待されます

本センターでは、“ひろしまそだち”野菜の生産及び消費の拡大を図るため、“ひろしまそだち”野菜アドバイザーを育成しています。食のイベントや料理教室などで“ひろしまそだち”野菜の旬や調理方法などの情報を消費者に提供するとともに、消費者のニーズを生産者に伝えます。

現在、65の方が“ひろしまそ

だち”野菜アドバイザーとして広島市長から認定され、公民館の料理教室などで幅広く活躍されています。

平成30年度は第9期生4人が1年間に10回の研修を受け、この度、“ひろしまそだち”野菜アドバイザーとして認定される見込みとなりました。

今後は研修で学んだことを生か

しながら、イベントや料理教室などを通じて“ひろしまそだち”野菜の幅広いPR活動など活躍が期待されます。

☎ 農林振興課 (☎845-4347)



(修了生) 食農体験教室



(研修生) 野菜栽培を体験



(研修生) 広島菜栽培農家と意見交換



(修了生) 料理教室

太田川シジミの資源回復にむけて (その3)

広島市におけるシジミ漁業は、太田川の淡水と海水が交わる汽水域で営まれています。クロダイによる食害などの影響で近年は漁獲量が激減しています。最盛期の昭和43年には約300トンだった漁獲量が、平成29年には年間156キロまで減少し、危機的な状況にあります。

センターでは、平成26年からシジミ資源の回復を目指し、セン



成育試験中のシジミ人工種苗

ターで生産した人工種苗を用いて様々な試験を行ってきました。

その結果、河床に設置した塩ビ管に人工種苗を収容し、上部をネットで覆うことで生残率が高まり、収容後約1年半で産卵可能な母貝まで成長することが明らかとなりました。

また、併せて行っているシジミの資源量を把握する調査で、毎年一定量の天然の稚貝が確認されて



ネットで保護した塩ビ管

広島市水産振興センター

いることから、産卵可能な母貝が増加すれば、シジミ資源が回復すると考えられます。

このため、今後は人工種苗を塩ビ管に収容して保護し、母貝まで成長させるための「母貝団地」を造成することで、シジミ資源が回復するかどうかを検証します。

☎ 普及指導課 (☎277-6609)



成育状況などの確認

担い手育成研修修了！ 新たなスタートです



“ひろしま活力農業”経営者 ～実地研修をスタートします～

センターでの基礎研修を終えた第21期生2人が、4月から安佐北区白木町三田地区と安芸太田町穴地区の就農予定地で実地研修を開始します。

約30アールのビニールハウスで、コマツナなど薬物野菜による大規模経営について学びます。



「スローライフで夢づくり」新規 就農者～新たに就農します～

セカンドライフとして新たに農業を始める第14期生2人が1年間の研修を終え、安佐北区白木町三田地区と佐伯区五日市町石内地区に就農します。

研修で学んだ知識と技術を生かし頑張っていきます。



ふるさと帰農農業者～改めて基礎から学び、技術を磨きました～

第13期生の農家9人が、野菜や花の栽培実習や講義を終えました。今まで自己流で栽培してきた方々も改めて基礎から学び、再スタートします。



“チャレンジ”女性農業者

～家族経営への参画に向けて～

第9期生の農家女性10人が1年間共に汗を流し、農業の基礎や農産加工などについて学びました。

これから、センターで学んだことを活かし、農作業等に積極的に取り組んでいきます。



☎ 農業担い手育成課 (☎842-4421)



広島近郊6大薬物野菜のキャラクター

「広島市の畜産を知ろう!」会が開催されました

平成30年12月21日に、広島市農業協同組合伴支店において、広島市農業振興協議会畜産委員会の主催による「広島市の畜産を知ろう!」会が開催されました。

この会は、畜産農家の現状や課題を行政機関と農業協同組合の畜産担当者が共有し、畜産農家と連携を図りながら広島市の畜産を盛り上げていくことを目的としており、市内の養牛、養鶏、養豚農家のうち15人が参加しました。

参加した畜産農家の代表3人が畜産業に対する日頃の思いや課題

を発表するとともに、広島県から、「広島和牛とMUFA（一価不飽和脂肪酸）」についての説明があり、牛肉のおいしさを測る指数として注目されているMUFAを枝肉の段階で測定し、より肉質の高い種雄牛づくりに活用を開始したとの報告がありました。

会の終了後、発表者が生産した和牛肉を焼肉で味わい、「広島市生まれ、広島市育ち」和牛の美味しさを再確認しました。

☎ 農業担い手育成課 (☎845-4378)



畜産農家の発表



広島市内産和牛肉の食事会

花みどり公園

花と緑の講習会

(4月～8月)



ガーデニング



コケ玉づくり

花や庭木・果樹などを題材とする、初めての人でも気軽に参加できる講習会です。

- 時間 午後1時～3時
(※は午前10時～12時)
- 定員 表のとおり(申込多数の場合は抽選)
- 申込 往復はがきに①住所、②氏名(ふりがな)、③年齢、④電話番号、⑤講座名を記入して、各講座の申込期間内に下記へ。
〒731-3362 広島市安佐北区安佐町久地2411-1 花みどり公園
☎ 同園 (☎837-1247)

開催日	講座名	定員	申込期間
4/13(土)	春のコケ玉づくり	各25人	4/1～開催日
4/14(日)			
4/20(土)			
4/21(日)	春のガーデニング	25人	4/1～4/11
4/27(土)	春のコケ玉づくり	25人	4/1～開催日
4/28(日)	春の庭木管理	25人	4/1～4/13
4/29(祝)	シャクナゲ栽培の基礎※	25人	4/1～4/13
5/3(祝)	春のコケ玉づくり	各25人	4/15～開催日
5/4(祝)			
5/5(祝)			
5/12(日)	シャクナゲの花から摘みから夏へ向けての管理	25人	4/15～4/25
6/2(日)	初夏のガーデニング	25人	5/15～5/23
6/9(日)	初夏の庭木管理	25人	5/15～5/27
6/16(日)	初夏の果樹管理	25人	5/15～5/27
7/27(土)	親子でブルーベリージャム作り※	各15組	6/15～7/1
7/28(日)			
8/3(土)			
8/4(日)			

水産振興センター

海辺の教室

小学校3～6年生と保護者

魚と漁業のことを楽しく知り、体験できる教室です。無料。

- 時間 午後1時～3時
- 定員 各15組(抽選)
- 申込 往復はがきに①住

所、②氏名(ふりがな)、③電話番号、④学年、⑤保護者氏名、⑥教室名を記入して、各教室の締切日(必着)までに下記へ。
〒733-0833 広島市西区商工センター八丁目5-1 広島市水産振興センター 普及指導課
☎ 同課 (☎277-6609)



チリメンモンスター



プランクトンの観察



カキ打ち体験

開催日	教室名	申込締切
4/21(日)	魚のからだと年齢	4/9(火)
5/19(日)	かまぼこ作り	5/8(水)
6/16(日)	メダカの観察	6/7(金)
7/21(日)	チリメンモンスター	7/9(火)
8/18(日)	プランクトン	8/8(木)
9/15(日)	育てる漁業:マコガレイ	9/6(金)
10/20(日)	塩づくり	10/8(火)
12/15(日)	貝殻で作品づくり	12/6(金)
1/19(日)	カキ養殖	1/7(火)
2/16(日)	海藻の役割	2/7(金)
3/15(日)	魚のおろし方	3/6(金)